

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3932  
19年2月19日(火)  
Fax 095-828-1953

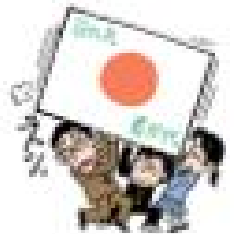
## 非常事態宣言で紛争を煽るファクト政治!

おはようございます。

「ファクト・ニュース」が政治の世界で大々的に問題化したのは、一年前のトランプ大統領が出現してからだ。彼はこの二年間で、八二五八回のウソをついたという。しかし、トランプは大統領を続けているし、いままた非常事態宣言を出し、危機を煽り、アメリカは混乱の渦中にある。

三つが、事実のねつ造で「U.S.スチール社は新たに六プラントを立ちあげた」と、根拠のないことを平気でいう。

そしてこれを記者から指摘されても、撤回をしないし、また同じことを延々とくり返



(ファクトチェック責任者)だ。彼は、ウソの代表的な例として三つを上げる。

一が、自らの業績の美化で「米経済は史上、最も好調だ」とする。無論、史上最高ではないことは自明だが、これと言いつける。

二つが、政敵の政党攻撃で、「民主党は犯罪の政党だ」という。共和党の支持者の多くが白人の保守派で、一方の民主党が、移民などのいろんな人がいるからだが、犯罪は移民や有色人種に限らない。

また自らの業績の美化ではアベノミクスで経済は絶対好調だとくり返す。実質賃金は伸びていないのに、統計の取りかたを変えて、都合の良い数字で「好調」を偽装し、国民をだます。

そして極めつきが、官邸での記者会見で、特定の記者に質問をさせない態度だ。このとき名指しで批判された東京新聞の望月衣塑子(いそこ)記者が書いた「安倍政治の1000のファクトチェック」には、多くの安倍首相の

す。そのさまは、「昨日と今日で、違うことを言っても恥じない」のが特徴で、ウソつきの政治家の典型だ。

ここまではアメリカのことが、なにやら日本でも同じだ。



安倍首相は、十年前の民主党政権時代を「悪夢の政治」と誹謗する発言をした。これは政敵の攻撃のトランプと瓜二つだ。「悪夢」とはなにをさすか根拠が明確ではない。そして批判されるや、安倍は「私も言論の自由がある」と「居直る。事実無根の誹謗発言には言われたくない。」

ウソが書かれている。

一つが森友学園問題である。この事件の発覚直後、安倍首相は「籠池理事長は立派な人」だと彼を擁護する。しかし追及が厳しくなるや、私や妻がこの事件にかかわっていたら、総理大臣を辞める」と発言し、鎮静化をめざす。

また籠池が「首相の妻から百万円の寄付をもらった」というと、安倍は手のひらを返し、籠池批判を始め、検察も籠池を逮捕し、口を封じた。そもそも無関係の人が百万円も寄付などしない。

しかも、今井首相秘書官が、文芸春秋の記事で「交渉の過程で(首相らの)名前があがっていたのだから無関係とは言えない」と首相の関与を示唆すると、今度は「贈収賄ではないという意味で、関わっていない」といいかえる。



このように日本でもファクトの政治は起きているし、それを報道する朝日、毎日新聞などは、国民の知る権利を守ると主張し、逆に産経や読売は安倍の翼賛報道的だ。

十五日、トランプは非常事態宣言を出し、国境の壁建設を強行し、二年後の大統領選挙での勝利を画策している。究極のファクトであるが、議会の力だけでは独裁を止められないのも、また歴史的な事実だ。

かつて戦争を始めるためには、「相手が攻めてくる」といえばいい、といったのはナチスの言葉だが、安倍やトランプのファクトの政治は、周辺国との危機を煽る政治手法で、これと同じだ。だまされまい。

### 「長崎学」、蘭学の祖、志筑忠雄とは。

日本の蘭学は長崎に始まる。では、誰がその祖か。それは志筑忠雄(中野忠次郎)である。一八一五年の「蘭学事始め」で杉田玄白は、「忠次郎はオランダ通詞の第一人者である」と誉める。誰? 志筑とは。長崎人もあまり知らない人だが……。玄白は偉そうに蘭学を語るが、オランダ語が読めなかった。ウソみたいな本当の話だ。玄白は蘭学のエースではないが、志筑は本物である。「長崎蘭学の巨人」(松尾龍之介著)から。

長崎市新地町の旧市民病院バス停横に「気球飛揚の地」の石碑があるが、日本初のこの気球飛揚実験をした人がこの志筑である。志筑はニュートンの「万有引力」を日本に初めて紹介し、現在、日本で使われている自然科学などの用語(引力、求心力、重力、地動説など)の多くは、志筑が日本語に翻訳した。

志筑は一七六〇年に生まれ、実家はいまの万才町の裁判所横にあった。成人して家業のオランダ通詞となるが、病気でその職を辞し、家に引きこもり、蘭学に没頭する。通詞だからオランダ人が住む出島に出入りができたし、たくさんの本も読めた。のち彼は日蘭語辞典をつくり、多くの弟子を育てた。

弟子の一番は、のちの幕府の天文方のトップを務めた馬場佐十郎である。玄白やその弟子らも、この馬場に学んでいることから、日本の蘭学の祖は馬場の師匠である志筑となる。志筑(中野家)の菩提寺は中島川沿いの光永寺(桶屋町)にあり、過去帳には忠次郎の名前はあるが、墓は確認されていない。「蘭学の巨人」の本はおすすりです。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。めざせ、均等待遇、なくそう差別! ユニオンは労務法裁判に勝利するぞ!